

# 一般質問通告事項一覧

令和3年第1回定例会 No.1

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(1)	久松 公生 【一括方式】	1. 本市の観光振興について	①歩崎栈橋におけるこれまでの取り組みについて伺います。	市長及び 担当部長
			②歩崎栈橋の今後の活用について伺います。	
		2. 本市のシティプロモーション事業について	①シティプロモーションのこれまでの取り組みについて伺います。	市長及び 担当部長
			②市の公式キャラクターの活用について伺います。	
		3. 本市のスマートインターチェンジ整備の実現について	①今現在の、進捗状況について伺います。	市長及び 担当部長
			②今後の実現に向けた展開について伺います。	

# 一般質問通告事項一覧

令和3年第1回定例会 No.2

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(2)	宮嶋 謙 【一問一答】	1. 新型コロナウイルスに対するワクチン接種について	新型コロナウイルス感染症に関し、ワクチン接種の準備が進められておりますが、かすみがうら市においては、どのような見通しとなっているか伺います。	市長及び担当部長
		2. デマンド型乗合タクシーの存続について	本年3月末まで廃止時期が延期されていたデマンド型乗合タクシーについて、4月からの運行がどうなるか伺います。	市長及び担当部長
		3. 地域農業と経済の活性化のための地産地消促進について	安全・安心な食の提供を確保するとともに、地域農業および地域経済の活性化を促進する有効な手段として、地産地消の促進があげられます。そのために、学校給食の食材を地域から調達する仕組みづくりや、土浦市と連携した「食の地域づくり」に積極的に取り組むべきだと考えますが、市の意向を伺います。	市長及び担当部長

# 一般質問通告事項一覧

令和3年第1回定例会 No.3

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(3)	来栖 丈治 【一括方式】	1. 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、福祉施設のクラスター抑制策と、市職員が感染した場合の行政事務業務継続計画（BCP）について	<p>令和2年1月15日、新型コロナウイルス感染症の日本国内第一例目の確定診断があった。それから政府や地方自治体、医療関係者、様々な機関で感染対策が講じられ、国民の協力により感染症との戦いが繰り広げられている。感染症の猛威により令和3年1月末で39万人の感染が確認されている。本市においても令和2年8月、一例目の感染確認がされて以来、令和3年1月30日で64人の感染が報告されている。ワクチン開発により、令和3年2月末からの国内ワクチン接種に期待が寄せられる中で、国民全員にワクチン接種が完了し結果が出るまで道のりはまだまだ続くことが予想される。幸いにもこれまで本市福祉施設のクラスターの発生と本市職員の感染がなかったが、隣の土浦市では福祉施設のクラスターの発生や市職員の感染があり4階フロアの7課の閉鎖があった。本市福祉施設の感染抑制策と市職員が感染した場合の行政事務の業務継続計画（BCP）について伺います。</p> <p>①本市福祉施設の感染防止で、クラスターの発生を抑制するため従事者、施設利用者のPCR検査は重要です。本市福祉施設の検査状況と近隣自治体を踏まえた本市の支援策などについて伺います。</p>	市長及び 担当部長
			<p>②市職員が感染した場合、具体的な行政事務の業務継続計画（BCP）は練られているのか伺います。</p>	

# 一般質問通告事項一覧

令和3年第1回定例会 No.4

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(3)	来栖 丈治 【一括方式】	2. かすみがうら市内私立認定こども園・保育園における保育士等の処遇改善について	令和2年3月に審議した請願第2号「かすみがうら市内私立認定こども園・保育園における保育士等の処遇改善助成金に関する請願」については、趣旨採択となった経過である。質疑の中で、保健福祉部長から「県南地区を中心に給与補助、土浦市、つくば市、阿見町でも開始され年を追うたびに増えており、かすみがうら市で助成をしていないということで大変重く受け止めている。今後、民営化も据えており、それも含めた中でじっくり十分な協議をしていければと考えている。」との答弁があった。10カ月が経過し、待機児童や保育士の確保など含めた状況調査や協議経過について伺います。	市長及び 担当部長
		3. かすみがうら市地域公共交通計画について	持続可能な運送サービスの提供の確保に向け、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律」が、令和2年11月27日に施行された。多くの地域で人口減少の本格化に伴い、バスをはじめとする公共交通サービスの需要の縮小や経営の悪化、運転者不足などで、地域の公共交通の維持・確保が厳しくなっている。他方、高齢者の運転免許返納が年々増加し、受け皿としての移動手段を確保することが重要な課題になっている。特に過疎地などでは、地域の輸送資源を総動員して移動ニーズに対応する取り組みを促すため、地方自治体が持続可能な運送サービスの提供の確保する取り組みを推進することが法改正の趣旨と聞いている。現在本市では、最適で持続可能な交通体系の実現を図るため市地域公共交通計画の素案が策定され、パブリックコメントに提出される場所である。 市内のどこからでも公共交通で移動できる公共交通網の形成と、「鉄道・バス・デマンド交通の役割分担を明確にし、運行経費の節減と運行効率化」このふたつが両立する公共交通体系の構築という基本方針とデマンド型乗合タクシーの存続、サービス拡充・運賃改定が計画スケジュールに記されている。何度もデマンド型乗合タクシーの必要性を訴えてきた者として、変化のポイントや市民への周知など含め市公共交通計画の概略について伺います	市長及び 担当部長

# 一般質問通告事項一覧

令和3年第1回定例会 No.5

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(4)	矢口 龍人 【一問一答】	1. 『中心市街地に複合交流拠点（行政・図書館）整備』の市長公約と公共施設等マネジメント計画及び公共施設長寿命化計画との整合性について	①中心市街地に複合交流拠点（行政機能・図書機能）を整備するとして坪井市長の公約と公共施設等のマネジメント計画及び公共施設の長寿命化計画との整合性について、坪井市長のまちづくりに対する考えを問う。	市長及び 担当部長
			②公共施設等のマネジメント計画及び公共施設の長寿命化計画の具体的な実行計画が示されていない中、複合交流拠点整備計画を市長公約に掲げ、来年度予算で用地取得を計画・実行しようとする議案が出されようとしておりますが、その真意を問う。	
			③下稲吉中地区内の公共施設の老朽化と集約を具体的にどのようにするか。公共施設等のマネジメント計画及び公共施設の長寿命化計画の中で、まずは具体的実行計画を示すべきと思うが、坪井市長の考えを問う。	
			④公共施設の敷地の借地個所数及び借地料並びに過去30年間の総借地料を踏まえ、具体的な改善計画は念頭にあるのかを問う。	
		2. 新治地内排水流末改修工事の遅れについて	2020年11月27日入札の新治地内排水流末改修工事が遅れている理由について伺う。	市長及び 担当部長

# 一般質問通告事項一覧

令和3年第1回定例会 No.6

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(5)	中根 光男 【一括方式】	1. 生活困窮者の相談状況と対応について	①相談件数及び自立が可能となった件数と対応状況について伺います。	市長及び 担当部長
			②生活困窮者自立支援制度の周知徹底について伺います。	
			③支援の更なる充実と今後の取り組みについて伺います。	
		2. 公立小学校で1クラス40人学級から段階的に35人学級にする取り組みについて	①5年間で1クラス40人学級から35人学級への認識と今後の具体的な取り組みについて伺います。	教育長及び 担当部長
			②これまで、各都道府県は、少人数指導など、政策目的に応じた「加配定数」による非正規教員の追加配置を重ねてきたが、正規採用の枠をいかに増やせるかが急務です。今後の計画的な取り組みについて伺います。	
		3. 新規就農者の実態と育成について	①5年間の新規就農者数と経営状況について伺います。	市長及び 担当部長
			②国の補助金及び当市の支援状況について伺います。	
			③今後の具体的な取り組みについて伺います。	

# 一般質問通告事項一覧

令和3年第1回定例会 No.7

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(6)	設楽 健夫 【一問一答】	1. 新型コロナウイルス感染抑止、クラスター対策、ワクチン接種について	①国の感染状況6指標に基づく、県緊急事態措置指標、医療提供体制、監視体制、感染状況の現状と当市の対策について	市長、 教育長 及び 担当部長
			②県抗原（定性）簡易キット活用した福祉施設（従事者）の検査スキームの当市実施状況について （特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、有料老人ホーム、障害者支援施設、サービス付き高齢者向け住宅の各数と各実施状況）	
			③福祉施設等の感染防止対策について	
			④県の陽性者の療養内訳にある自宅療養者への対応の当市実施状況について 1）やむを得ず入所できない場合の当市の発生状況（累積）について 2）県の自宅療養者への対応<1：健康状態の把握（日1回～2回）2：パルスオキシメーターの貸し出し3：外出せず療養していただくための、食料品等の配送>の当市の実施状況について	
			⑤陽性者の子ども、高齢者の支援について	
			⑥保育所・幼稚園・小中学校・高齢者福祉施設の感染抑止、クラスター対策について	
			⑦新型コロナウイルスワクチン接種の要介護、一人暮らし高齢者の対策について	
			⑧新型コロナウイルスワクチン接種「集団接種」「かかりつけ医の個別接種」について	

# 一般質問通告事項一覧

令和3年第1回定例会 No.8

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(6)	設楽 健夫 【一問一答】	2. SDGs (誰一人取り残さない社会の実現) にもとづく教育・児童福祉行政について	①給食費の公会計への移行で何がかわるか、準備状況について	市長、 教育長 及び 担当部長
			②市内農畜水産物の給食における食材活用の現状について	
			③昨年の総括一夏期学校給食実施体制整備について	
			④市内子ども食堂の支援について	
			⑤交通空白地帯の高校生通学の支援、前市長公室長答弁の待合室設置について	

# 一般質問通告事項一覧

令和3年第1回定例会 No.9

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(6)	設楽 健夫 【一問一答】	3. 政治倫理条例と職員採用コンプライアンス及び職務給評価制度について	①平成25年6月4日議案第42号「市長等政治倫理条例について」の提出経過について	市長及び担当部長
			②市職員採用制度における前回答弁「当市の3名による最終面接採用制度から県採用制度（総合点数上位者採用制度への移行について検討する）」の検討経過について	
			③退職者再任用職員の職務給評価制度の現状と近隣市との比較について	

# 一 般 質 問 通 告 事 項 一 覧

令和3年第1回定例会 No.10

通告 順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(7)	佐藤 文雄 【一問一答】	1. 入札制度の改善について	過去5～6年における建設工事の入札結果から推考する。 ①入札談合と予定価格の事後公表について、問う。	市長及び 担当部長
			②最低制限価格設定をやめ低入札価格調査制度の採用について、問う。	
			③随意契約について、問う。	
		2. 新型コロナウイルス感染症防止対策について	当市が出来うる新型コロナウイルス感染症の収束に向けた対策・取り組みについて ①医療機関や高齢者施設、保育所、学校を含む大きな施設の職員と出入り業者に対し定期的なPCR検査を実施することについて、問う。	市長及び 担当部長
			②「いつでも、どこでも、何度でもPCR検査を」とする観点について、問う。	
			③事業と雇用を継続できる補償と支援を強化することについて、問う。	
			④コロナ禍で生活が困窮している方々や学生などへの食料支援、特に食料の地産地消の観点からコメの配給について、問う。	

# 一般質問通告事項一覧

令和3年第1回定例会 No.11

通告順	通告者	質問主題	質問要旨	答弁者
		(質問の区分)		
(8)	川村 成二 【一問一答】	1. 雪入山・浅間山周辺のハイキングコースの維持管理と環境保護について(2回目)	①三ツ石森林公園及び周辺において発生が危惧されている樹木のナラ枯れについては、12月に検体を伐採し検査を実施するとの答弁があった。 検査結果と今後の対応について伺う。	市長及び 担当部長
			②雪入山・浅間山周辺は、筑波山地域ジオパークの筑波・鶏足山塊ゾーンの雪入・三ツ石ジオサイトに指定され、環境保護が重要であるとの考えから、昨年12月の定例会において林野庁から指摘された国有林を通るコースの借用手続きの対応と絶滅危惧種に指定されているキンランの保護への取り組みを求めた。 その後の対応について伺う。	
		2. かすみがうら市のホームページ及び広報誌等のリニューアルについて	①本年1月からかすみがうら市のホームページ及び広報誌等が大幅にリニューアルされ、更なるイメージアップにつながるものと受け止めている。 今回のリニューアルについて、どのように現状分析と評価を行い目標を設定したのか、その目的と経過および費用対効果について伺う。	市長及び 担当部長
			②ホームページには膨大な情報が網羅されているものの、閲覧者の利用する目的も多種多様であることからマッチングしないことも多々ある。 2020年は新型コロナウイルス感染症拡大から、インターネット環境が目されデジタル技術の大きな転換期となっている。 市が持つ情報をデジタル技術等の活用により積極的に提供することや、行政手続きのデジタル化により市民が容易に手続きできるなどの簡略化が図れる新たな手法など、新たな視点での改善が必要であると考えことから、デジタル技術等の活用による新たな付加価値を生み出す方策等の取り組みについて伺う。	